

各位

株式会社 栗本鐵工所

## クリモトコンポジットセンター開設のお知らせ

株式会社栗本鐵工所（本社：大阪市西区、社長：福井秀明）は、炭素繊維強化樹脂材料（CFRP）の開発拠点としてクリモトコンポジットセンターを2016年3月、当社 湖東工場（滋賀県東近江市）内に開設し、CFRP関連の開発を加速させます。

CFRPについては、自動車業界をはじめ、ロボット、工作機械といった産業機械分野において先進材料として軽量で高強度な材質として実用化されております。

同センターに設置する、開発・試作ならびにデモンストレーションプラントについては、CFRP部品の量産プロセスであるCarbon-LFTD<sup>®</sup>システム<sup>※1</sup>およびハイサイクルRTMシステム<sup>※2</sup>の製造プラントを設置します。Carbon-LFTD<sup>®</sup>システムの主要機器には、当社製「二軸連続式混練機KRCニーダー」を採用し、両システムの共通機器として欧州で実績のある独国Wickert社製「油圧プレス」を採用しております。これらの成形システムのデモンストレーションプラントの設置は、国内企業では当社が初めてとなります。

当社は、従来よりガラス繊維と熱硬化性樹脂によるFRP製品を製造・販売しており、新たな材料領域としてCFRP製の部材供給を目指し研究開発を進めております。

また、各種生産プロセスにおける繊維混練工程においては、混練分野において1,000台以上の納入実績を有するKRCニーダーを製造・販売しており、また熱間・温間鍛造プレス分野においても日本のトップブランドであり、これら機器のメンテナンス体制を既に有しております。機械プロセス技術ならびにメンテナンス体制を本事業分野においても展開してまいります。

クリモトコンポジットセンターの開設により、部品関連メーカーの製品開発はもとより、材料メーカー、金型メーカー等とのパートナーシップを形成し、材料から成形プロセス、成形品までの幅広いソリューションを提供してまいります。そして本事業分野において、5年後30億円の売上高を目指しております。

当社は、これまで蓄積した独自技術を元に更なる開発を進め、CFRP分野の発展に貢献してまいります。

※1 Carbon-LFTD<sup>®</sup>システム (Long Fiber Thermoplastic Direct forming)

加熱溶融した熱可塑性樹脂に、混練機で炭素繊維を混ぜ合わせて押し出し、その押し出された高温の混合材をそのままプレス機で圧縮成形する方法。

※2 ハイサイクルRTMシステム (High Pressure Resin Transfer Molding)

型内に炭素繊維織物などのシートを配置した上で、樹脂を高圧で混合・注入・含浸し、プレス機で加熱・硬化させる成形方法

上記のシステムは、従来のCFRP成形システムより大幅に成形時間が短く、タクトタイムが短縮できる。また高価なプリプレグなどの中間基材を使用しないので、低コストになる。

以上

本件に関するお問合せ先  
株式会社 栗本鐵工所 総合企画室  
電話 06-6538-7719

